

食と農と暮らしと。あなたをリードするアクティブ・マガジン

かながわ西湘

2025

6

vol.225



コメ作りを極める

瀬戸 繁雄さん
開成／開成町金井島

水稲8ha栽培

酒匂川の肥沃な水と豊かな土壌に恵まれた開成町金井島地区でコメ作りに精を出す瀬戸さんは農家の5代目。妻のフミ子さんと水稲の『はるみ』『キヌヒカリ』『てんこもり』の3品種、約8haを栽培しています。

コメ作りは苗半作なまはんさくと言われるほど育苗作業は重要な工程です。瀬戸さんは4月20日から作業を始めて、苗箱に約1,200枚を育苗しています。4日ほどで発芽するため、芽が伸びすぎないように発芽機の温度管理には注意を払います。

種まきから25日ほどで田植え作業が始まります。「昔はひも苗で植え付けたけど今の田植え作業は1日に1haできるようにになった」と話す瀬戸さん。田植え後の管理は深水にして、かけ流しすることなどで高温対策をしています。また、コメがおいしく育つよう肥料は窒素を多めに散布。肥料高騰もあり最近では肥料の銘柄を変更するよう工夫しました。瀬戸さんは「これからコメ作りを極めていきたい」と笑顔を見せていました。

組織活動の新たな拠点に

城南支店が新たにオープン

J Aでは平成25年3月の理事会で承認された支店体制再構築計画を進めております。この計画に基づき5月19日、新店舗『城南支店』がオープンしました。

店舗デザインは、両地域の歴史と自然の風情を調和したイメージに。新店舗の誕生により、管内組合員の連携した組織活動が始動します。

J Aでは組合員・利用者から信頼され、組合員ニーズに即した総合力を発揮する事業活動を展開し、さらには将来を見据えた盤石な経営基盤を確立することを目的に、平成25年3月の理事会で支店体制再構築計画を決定しました。これまで老朽化した店舗の建て替えや2支店を統合して新たな新店舗建設を進めており、5月19日に小田原市早川に新店舗『城南支店』が誕生しました。

城南支店は、大窪支店と早川支店が統合。組合員の組織活動の新たな拠点はもとより、支店機能のさらなるサービス向上を目指し、引き続き

「身近な農協」としての役割を果たして参ります。

新店舗は、鉄骨造2階建ての約553㎡。店舗のデザインは、歴史と自然の風情あふれる大窪・早川地区を調和するイメージにしました。また、大きな切妻屋根を設けることで躍動感が生じ、組合員・利用者への「いざない、もてなす」を演出。そのため多くの組合員・利用者が来店する1階フロアは十分なスペースをもってレイアウトされています。2階の外壁は木質（再生木）を使用し、小田原城下町の近郊の郷愁を創出しています。



木質を基調にした外壁の城南支店
(小田原市早川3-8-1)
☎0465(24)2318



城南支店の
柏木英伸
支店長



城南支店ではオープンを記念して、ご来店先着200名にポット花をプレゼントしました。5月30日まで年金振込指し、定や新規の定期貯金、投資信託口座開設のいずれかを契約された方、先着30名に限り地元産のはるみ米1kgをプレゼントさせていただきます。皆さまのご来店をお待ちしております。

青壮年部と女性部が通常総会

清水さん(大井)が部長に

女性部は4月24日、本店で第16回通常総会を開催しました。4議案すべてが承認され、役員改選で大井支部の清水美智代さんが部長に就任しました。今年度は助け合い組織すみれ支部仲間に加わりました。女性部活動がより活性化するように次世代の加入促進に取り組んでいく考えです。清水部長は「皆さまのお力をいただき、より良い女性部にしていきたいと思いますので、ご協力をお願いいたします」と挨拶しました。



曾我さん(中井)が委員長に

青壮年部は4月15日、本店で第19回通常総会を開催。3議案すべて承認され、新委員長に中井支部の曾我尚人さんが就任しました。活動計画では、地域の特色を生かした支部活動を展開し、J Aかみつが青年部と交流を深めていくことを明示しました。曾我委員長は「我々若い農業者の存在感を広く訴えていくことが農政運動につながる。青壮年部の意義をよく理解し、精一杯活動をしていきたい」と意気込みました。



理事会だより

主な議題

令和7年4月30日

◆令和7年度事業説明会の開催について

令和7年6月10日から17日にかけて、各支店において組合員を対象に事業説明会を開催することの報告がありました。内容は第19期通常総代会提出議案及び自己改革の実践状況の説明など。

◆20周年記念事業積立金の設定について

当J Aでは令和8年9月1日に設立20周年を迎えます。10年ごとの大きな節目となり、10周年を超える記念事業を令和8年度年間を通じ展開するために『20周年記念事業積立金』の設定を協議した結果、承認されました。

◆第19期剰余金処分案の考え方について

令和7年6月26日(木)に開催する第19期通常総代会へ議案提出する剰余金処分案について協議した結果、承認されました。剰余金処分は、前記『20周年記念事業積立金』への積み立て、並びに出資配当を予定しています。

夏野菜の管理について

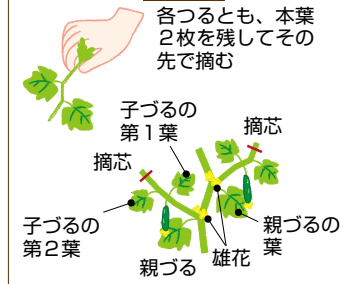
キュウリ

【摘芯・摘葉】 定植後、地上30cm以下（株元から4～5節）の子づると雌花は取り除きます。子づると孫づるとは、葉を2枚残して、その先で摘芯しましょう。親づるとは25節程度で芯を止め、生長点は3つほど残します。
【追肥】 キュウリは肥料が不足すると葉の色が薄くなったり、果実が変形したりするので実が肥大し始めたら、**5～10日おきに株回りに追肥しましょう。**（使用目安：NK化成2号4kg/a）
 また、浅根性で乾燥に弱いので、畑が乾いたら小まめにかん水しましょう。

摘芯



摘芯



技術顧問が農業を支援します

J A では各営農経済センターに技術顧問を配置しており、栽培管理や肥料・農薬・生産資材の説明など、農業についてのさまざまな相談に対応しています。技術顧問の出勤体制や出勤日の変更等がありますので、相談前にご連絡ください。

令和7年度 技術顧問出勤体制

センター別配置

令和7年4月より

	月	火	水	木	金	土
営農部営農指導課 0465(46)6950	池田顧問		池田顧問	池田顧問		
久野営農経済センター 0465(35)8010	鈴木(明)顧問		鈴木(明)顧問			鈴木(明)顧問
成田営農経済センター 0465(38)0131	鈴木(伸一)顧問	椎野顧問		椎野顧問		鈴木(伸一)顧問
湯河原営農経済センター 0465(62)6149			椎野顧問			
中井支店 0465(81)2776	片木顧問	小島顧問		小島顧問	片木顧問	椎野顧問

池田顧問 8:30～17:00

その他顧問 9:00～16:00

土曜日 9:00～12:00

※今年度より、開成営農経済センターの技術顧問が不在となりましたが、SNSの活用等により、本店営農部営農指導課や各営農経済センター・中井支店の顧問と連携して対応に努めてまいります。

レモン栽培講習会

1. 対象者：レモン栽培者

2. 日程・会場

日程	地区	開催時間	集合(園地が不明な方)	集合時間
7月1日(火)	久野	9:30	久野営農経済センター	9:00
	下管我	13:30	管我の里支店	13:10
7月2日(水)	真鶴	9:30	石名坂バス停付近	9:20
	片浦	13:30	佐奈田霊社駐車場 (小田原市石橋420)	13:15
7月3日(木)	山北	9:30	山北支店	9:00
	中井	13:30	中井支店	13:10

3. 内容：ア) 苗木、新梢の管理について イ) その他

4. 申込期日：令和7年6月20日(金)まで

5. 申込先：営農部営農指導課または各営農経済センター、山北支店、中井支店まで

※全日程、同内容になります。ご都合に合わせて参加ください。

詳しくは営農部営農指導課 ☎ 0465(46)6950



スクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)の収集について

スクミリンゴガイは非常に繁殖力が旺盛で発生すると完全撲滅は難しく、被害拡大を防ぐために継続した対策が必要です。発見したら捕殺(つぶす)するようにお願いしていますが、死骸の悪臭やカラス等のいたずらによる生息地の拡大の危険性があるため、成田営農経済センター・中井支店にて下記の日程で回収し、焼却施設へ持ち込みいたしますので、スクミリンゴガイを発見した場合は捕獲をお願い致します。

※寄生虫がいる場合があるため、捕獲の際は素手では触らずゴム手袋などを使用してください。

記

1. 収集日：令和7年6月2日(月)・9日(月)・16日(月)・23日(月)・30日(月)
 7月7日(月)・14日(月)・22日(火)・28日(月)
 8月4日(月)・18日(月)・9月1日(月)・8日(月)

2. 収集時間：8:40～12:00(基本)

※時間に間に合わない場合は成田営農経済センターにご連絡ください。

(下中支店管内については中井支店にご連絡ください)

3. 収集場所：成田営農経済センター 住所：小田原市成田802-1 TEL：0465(38)0131
 下中支店管内は中井支店 住所：中井町比奈窪68 TEL：0465(81)2776



足柄茶は
一元集荷体制

農家が栽培した茶は各地の荒茶工場で加工され、茶業センターに一元集荷されます。そこで仕上げ加工されて商品になり、消費者へ販売されます。

昭和49年

第3回関東ブロック茶の共進会で足柄茶が上位入賞し、農林水産大臣賞を受賞

昭和50年

足柄茶50周年。
足柄茶の記念碑建立

・エリザベス女王
来日



昭和50年代、
ミカン暴落により、茶の
栽培広がる

昭和59年

神奈川県農協
茶業センター
新工場完成
(現在の茶業
センター)



こんな
商品も
あった!

ギャバギン茶3.5

γ-アミノ酸が含まれ、ウーロン茶のような飲み口



昭和39年

清水農業協同組合で
茶業センターを設
置。県下一元集荷体
制を整える

・東京オリンピック
開催

平成12年

山北町のFA工場(グ
リーンティーあしが
ら)稼働(町内の14
荒茶工場を統合)

※FA…全自動

・2,000円札発行

平成4年

神奈川県農協茶業セ
ンターを解散し、株
式会社へ移行

・バブル崩壊



昭和の終わりか
ら平成にかけて
防霜ファンが設
置される

平成13年

全国初の
足柄茶
リシール缶
発売



平成30年

リシール缶
『箱根山麓紅茶』
発売



令和5年

リシール缶『ほうじ
茶』が日本茶アワ
ード2023年飲料部門
で奨励賞を受賞



令和6年

一番茶の本茶を
使用したリシール
缶『足柄茶プ
レミアム』発売

・新紙幣が20年
ぶりに発行



平成27年

リシール缶『ほう
じ茶』発売。
紅茶の製造が始
まり、『箱根山
麓紅茶』として
発売



平成23年

福島原発事故により茶
から放射性物質が検出
される(古葉の刈り落
としなどを行い、翌年
出荷制限は解除)

・東日本大震災

こんな
商品も
あった!

はいお茶

ポッカコーポレー
ションと提携し開発
した缶入りドリンク



足柄茶100周年新茶購入感謝キャンペーン

金太郎・足柄茶シールで応募! 締め切りは
7月15日(火) 消印有効



A賞

10袋以上購入の方 60名様(各30名様)

- ①美味しいお茶の淹れ方セット(急須・湯冷まし・茶さじ)
- ②箱根山麓紅茶ギフトセット(ティーバッグ2品・菓子2品)

B賞

5袋以上購入の方 40名様(各20名様)

- ①箱根山麓紅茶ミルクティー(24本入)
- ②水出し用フィルターインボトル(750ml)

対象期間: 2025年4月~6月

対象商品: チラシ「組合員の皆さまへ 足柄茶2025年新茶予約開始」記載の商品

応募条件: 足柄茶製品5袋以上ご購入の方

応募方法: 商品の外箱に貼付された対象シールをハガキにしっかりと貼り付け(コピー不可)、郵便番号・住所・氏名・電話番号・購入JA・商品に
対するご意見を明記のうえ、ポストにご投函ください。

※ハガキ1枚につき1口の応募とします

応募宛先: 〒254-0811 平塚市八重咲町3-3 JA全農かながわ生活部生活課
「足柄茶100周年新茶購入感謝キャンペーン」



令和7年

足柄茶100周年
新商品続々発売!



詳しくはこちら

100周年記念県内JA直売所一斉キャンペーン

6月1日に朝ドレファ〜ミ♪
成田店・ハルネ店でキャンペーンを行います!

- JA 銘柄の新茶の販売
- フレーバーティー(湘南潮彩レモン、湘南ゴールド)の販売

対象商品を
1,000円以上
購入された方には
先着200名に
100周年記念缶を
1本プレゼント



足柄茶の
YouTube動画は
こちら



特集

ASHIGARA-CHA HISTORY

足柄茶ヒストリー

～100年の歩み～

足柄茶の栽培が始まって今年で100年。J Aの特産物であり、かながわブランドにも登録されている足柄茶。その歴史は、大正12年に発生した関東大震災の産業復興策として導入したのが始まりです。100周年を迎える足柄茶の歩みを紹介します。

足柄茶年表

※青字は日本の出来事

大正14年

関東大震災によって甚大な被害を受けた清水村で産業復興策として茶の栽培が始まる

※清水村…現在の山北町清水地区

・東京放送局 (NHK) 放送開始

昭和2年

清水村で手揉みによる共同製茶開始。翌年以降、村営製茶工場ができ、栽培面積や生産量が増加していく

・昭和金融恐慌

昭和23年

戦後の復興として北足柄村で茶種子の無償配布。以降各地に栽培が広がる

・『東京ブギウギ』流行

昭和38年

第17回全国茶品評会で1等入賞

・黒部ダム完成

平成16年

開成町と愛川町で機械化を前提とした茶栽培始まる

・拉致被害者が家族とともに帰国

平成18年

中井町で機械化を前提とした茶栽培始まる

・トリノ (冬季) オリンピック開催

平成19年

『足柄茶』が地域団体商標に登録される

・第1回東京マラソン開催

平成22年

ボトル茶がAPEC (横浜で開催) で振舞われる

・小惑星探査機『はやぶさ』帰還

足柄茶の歴史と未来について

山崎貞和さん (清水支店・山北町湯触)

茶業運営委員長を務める。茶を60a栽培。自宅に荒茶工場を併設。

足柄茶は香りが良く、うまみと渋みのバランスが良いのが特徴。里帰りをした人が「足柄茶はやっぱりおいしい」と、買って帰る人が多い、ふるさとの味です。

大正14年に関東大震災の復興策として栽培が始まりましたが、被害を受けた清水村では、酪農やコンニャクも候補として挙がっていました。しかし調査した結果、茶産地の川根 (静岡県) に似た地形や気候で茶栽培が適しているということになったそうです。それから技術や知識の習得を目指し、茶産地へ人を派遣するなど力を入れていきました。特に戦後、各地に栽培が広がると茶工場が増設され、生産量が増えるとともに、品質は向上。現在は県内5 J Aで栽培され、J Aかながわ西湘は6割をシェアしています。

我が家では、昭和44年に祖父が荒茶工場を建設。祖父母と母が中心となって作業していました。当時は夫が勤めに出て、妻が農業をするケースが多く、他の家庭でも女性が茶業に携わることが多かったですね。昭和53年に機械を新調し、今は私1人で作業しています。

最近、茶相場の低迷、資材・燃料価格の高騰、担い手不足などにより生産量・栽培面積が減少しています。私や他の生産者も70代。作業も大変になり、足柄茶の伝統を守っていくのは厳しい状況です。そこで、生産者と茶業センターなどが協力して対策部会を立ち上げました。これからは互いに一丸となって足柄茶を守っていく考えです。

昔から続く緑豊かな茶畑の風景、先人たちが紡いできた技術と味。私も身体とわが工場の機械が元気に限り茶業を続けていきたいです。

野菜苗くださーい

～大井幼稚園がお買い物体験～

大井町立大井幼稚園は、食の大切さと命の尊さを学ぶために、夏野菜の栽培に取り組んでいます。4月17日には、お金の大切さと社会のルールを学んでもらうために、野菜苗の買い物体験を行いました。当日は、開成宮農経済センターの笠間勇紀係長が夏野菜の育て方などを説明後、園児が「苗くださーい」とお買い物。苗は園で育て、塩もみをしたりピザにのせたりとみんなで調理して味わう予定です。

小林俊哉園長は「この体験を通して社会性を身につけるとともに、野菜栽培を通じて豊かな心を育んでほしい」と話しています。



キュウリの苗を見て歓声を上げる園児たち

花でつながる地域の輪

～女性部下府中支部が作る花壇～



咲き誇る花に思わず微笑む部員たち

下府中支店前の花壇では、季節の花が咲き誇り、訪れる人の目を楽しませています。管理するのは女性部下府中支部で、6月下旬にヒマワリと夏から秋まで楽しめる花を、11月下旬には春まで楽しめるようチューリップの球根やビオラなどを植えています。部員が花壇の手入れをしていると「いつも楽しみにしています」など地域住民から声をかけられ、「ミニユニケーションの場にもなっています。同支部では「これから素敵な花壇を作っていくので、次何が咲くか楽しみにしています」と呼びかけます。

小田原の新名物梅のパン

～三者連携で新商品発売！～

「小田原の梅を味わってほしい」との思いから山崎製パン（株）、JA、小田原市が連携し『梅ジャム&ミルクホイップツイストドーナツ』を開発。5月1日から31日の期間限定で、朝ドラファームミミ及び関東エリアのヤマザキ商品取扱店舗で販売されました。

開発に取り組んだのは、三者の若手女性職員によるプロジェクトチーム。女性をターゲットにした、ツイストドーナツにミルクホイップと梅ジャムをサンド。程よい甘さのミルクホイップが梅ジャムの酸味とマッチし「爽やかな初夏に合うすっきりとした味わい」と人気を集めていました。今後三者で連携し、地元の魅力を詰め込んだ商品を開発していく予定です。



新商品をPRする三者プロジェクトチームメンバー

母の日にカーネを贈ってね

～青壮年部員が園児にプレゼント～

青壮年部下中支部は4月15日、『母の日』に贈ってもらおうと、下中幼稚園の園児にカーネーションのポット苗をプレゼントしました。ポット苗は支部の花き農家が栽培したもので、支部では「地元の農業への理解を深めてもらえたら」と話しています。

当日は部員が「大事に育ててね」など声をかけて、一つひとつ園児に手渡しました。今年の母の日は5月11日。園児たちは母の日まで園で大きく育てた後、それぞれの家庭へ持ち帰り、「お母さんありがとう」と感謝の気持ちを伝えて贈りました。



園児にカーネーションのポット苗を手渡す部員

花と笑顔をプレゼント

～女性部曾我の里支部とすみれ支部が活動～

5月9日、曾我の里支店で女性部曾我の里支部と助け合い組織すみれ支部など13人が協力してふれあい訪問活動『ハッピーフラワードay』を行いました。地域の高齢者宅71件にベコニアの花鉢を届け、笑顔の花を咲かせていました。当日は女性部相和支部のメンバー5人も参加。相和支部でもふれあい訪問活動を実施していく考えです。

曾我の里支部の小室万里子支部長は「この活動を通じて地域高齢者の元気な顔と楽しいおしゃべりの時間で私たちがパワーをもらっている。これからも仲間と一緒にたくさん活動をしていきたい」と意欲を込めました。



寄せ植えを楽しむ参加者

お花が好きな子あつまれ～！

～朝ドラで寄せ植え体験～

朝ドラファースト成田店は、5月3・4日の2日間、花にふれあい楽しんでもらおうと、中学生以下の子どもを対象に花苗の寄せ植え体験を開きました。当日、子どもたちは生産者から花の配色や配置のバランスなどのアドバイスを受け、寄せ植えを体験。鉢にはマリーゴールド、ブルーサルビア、ベゴニア、なでしこなど色とりどりの季節の花が植えられました。参加した子どもは「お花がいっぱいあってどれにするか悩んだけど、かわいくできた」と満足の様子。同日、生産者による園芸相談会も行われ、会場は賑わっていました。



今年も笑顔と花を届けます



インフォメーション



令和7年度 事業説明会の開催について

令和6年度の事業報告、第7次3か年計画・令和7年度事業計画（案）など通常総代会提出議案の説明とあわせ、組合員の意見・要望を聞く場として支店ごとに事業説明会を開催いたします。

開催期間：令和7年6月10日（火）～17日（火） ※日時については、各支店よりご案内いたします

第19期(令和6年度)通常総代会の開催について

開催日時：令和7年6月26日（木）13：30～

開催場所：小田原三の丸ホール・大ホール（小田原市本町1-7-50 小田原駅徒歩13分）

総代のご出席をお願いいたします。

参加者募集

夏休み子どもあぐりスクール

日 時：令和7年7月19日（土）8：30～16：30

内 容：朝ドレファ～ミツ見学、夏野菜の収穫、足柄茶を知ろう、昼食はバーベキュー

募集人数：35人程度（管内の小学校4年生から6年生）

参加費：3,000円

募集開始：令和7年6月2日（月）～16日（月）

申込み：株式会社 農協観光のEメールにて ntour.kanagawa@ntour.co.jp ※誤送信にご注意ください

※先着順の受付ではありません。参加の可否は6月27日（金）までに郵送にてお知らせします



お問合せは組織企画部組織広報課まで ☎0465(47)8183

令和7年度 狩猟免許試験のお知らせ

野生鳥獣による農業被害軽減のため狩猟免許を取得しませんか？

【試験の期日及び受付期間】

試験名・定員	試験日	受験の申込期間	試験会場
第1回（142名） わな猟、第一種銃猟	6月26日（木）	5月9日（金）～5月22日（木）	小田原合同庁舎 （小田原市荻窪350-1）
第2回（132名） 網猟、わな猟、第一種銃猟	7月27日（日）	6月10日（火）～6月23日（月）	県立保健福祉大学横須賀キャンパス （横須賀市平成町1-10-1）
第3回（142名）わな猟、 第一種銃猟、第二種銃猟	9月2日（火）	7月16日（水）～7月29日（火）	小田原合同庁舎 （小田原市荻窪350-1）

※受験申込は先着順になります

試験の申請方法は次の2種類

①郵送（簡易書留推奨）※受付期間内までの消印有効

②電子申請（インターネットによる申し込み）※1 16時までの申請は当日扱い、それ以降は翌日扱い
※2 受付期間最終日に限り16時まで

申請URL https://dshinsei.e-kanagawa.lg.jp/140007-u/offer/offerList_initDisplay.action

マニュアル掲載ページ URL <https://www.pref.kanagawa.jp/docs/t4i/cnt/f986/p889835.html>



申請URL



マニュアル

掲載ページ

神奈川県猟友会主催の事前講習会を受講しましょう

狩猟免許試験事前講習会案内

6月19日（木）	横浜ワールドポーターズイベントホールA（1種・わな）	定員100名
6月22日（日）	アイクロス湘南カンファレンスルーム6F E号室（1種・わな）	定員130名
7月21日（月・祝）	かながわ労働プラザ多目的ホールA・B（1種・わな・網）	定員160名
8月24日（日）	ラジオ日本クリエイティブ3F会議室A・B（1種・2種・わな）	定員130名

問合せ先：（公社）神奈川県猟友会 ☎045(201)7141 Mail: info@kana-ryoyu.org

講習時間：受付開始9：00 講習会9：30～17：00頃まで

講習内容：〔講義〕法令・判別・猟具の取扱い 〔実技〕猟銃・わな・あみの取扱い

講習会持ち物：受講票・筆記用具・読本・例題集

※事前講習会是有佐藤火薬店（山北町山北1378）☎0465(76)3452に直接お申込ください。

※各会場、人数制限がありますのでお申込みはお早めに！

お問合せは営農部営農企画課 ☎0465(46)6952



J A かながわ西湘は2025年国際協同組合年
（IYC2025）に賛同しています



国際協同組合年

協同組合はよりよい世界を築きます



JA かながわ西湘

本店 〒250-0874 神奈川県小田原市鴨宮627番地
TEL:0465(47)8125

●かながわ西湘6月号（vol.225）令和7年5月20日（毎月20日発行）
●発行／かながわ西湘農業協同組合 ●発行責任者／宇留間優
●編集／組織企画部組織広報課

J A かながわ西湘ホームページ▶<https://ja-kanasei.or.jp/> かながわ西湘

